

の同志としてお互の上き日の来る最後迄闘ひ度い。

製鋼労働小倉支部

全農栃本縣聯

伊藤卯四郎

全農佐賀縣聯

全農京都府聯

全農宮崎縣聯

淺沼稻太郎

全農熊本縣聯準備會

一五、合同組織報告

本 爲 張

我々は此無敵死を待つか 地主資本家の御用をつとめて
オコボレを頂戴するか資本主義打倒の爲闘争するか
る、北置前農民組合、筑後農民組合並に京築地農委員会
の三團體に合同を提唱し十一名の常任委員を設け農組
準備委員会を組織し去る十月十五日で準備が出来上り
組合員約一、〇〇〇名の参加を得て今日茲に全農福岡縣
聯の結成を見るに至つたのである。

一六、議事

1 規約決定の件

坂本米吉説明

別紙規約草案の通

原案可決

2 財政確立の件

堀口孝正説明

會費 二圓五拾銭 (規約第三十五條参照)

内 本部へ四十八銭 殘金を縣聯へ

二十銭は出版所に積立つ

闘争資金は各地方各團に積立て、行く

3 運動方針の件

田原春次説明

別紙運動方針書(印刷物の類)可決

4 アアフレコ事件の件

藤本幸太郎説明

我々の反對して来た滿洲戦争は我々労働階級には一銭一
厘にもなつてゐない、お互の懐の中を見れば分る 中止
5 社會大衆黨支持の件
吉城謙吉説明